

2019年度懇話会報告

懇話会名 機械の音と振動研究懇話会
代表者名 宇津野秀夫
委員数 49名
集会回数 3回
設置年月日 平成5年7月

I 研究会活動

- 第71回懇話会(2019年9月13,14日) 会場 KKRびわこ 参加者23名
特別講演 「光学的手法を用いた微小変位分布計測手法と構造物の欠陥検出への応用」
講師 福井大学 学術研究院工学系部門 知能システム工学講座 藤垣元治教授
特別講演では藤垣先生より、通常の振動騒音に関係するテーマとは異なる観点からの話題が提供された。
一般講演として、参加者全員による研究セッション(技術や研究に関する成果を発表し、質疑応答を行う)、技術討議セッション(面白い論文や特許の紹介、実験設備の紹介、業界での最近の技術動向・研究動向など幅広い内容を想定する)、自己紹介セッション(発表しない40歳以下の参加者用のセッション)を実施した。
- 第72回懇話会(2019年10月19日) 会場 大阪市立大学 杉本キャンパス 参加者25名
第20回秋季技術交流フォーラムの一環として開催。振動談話会と共催。
テーマ「ロボット・工作機械の運動力学」
[座長 宇津野秀夫(関西大)]
【機械学会賞(技術)受賞講演】「アクティブ振動制御装置を搭載した射出成形機用取出ロボット」
／白崎篤司(ユースン精機)
【基調講演】「革新的な産業用ロボットを生み出す設計原理を考える」
／野田哲男(阪工大)
【基調講演】「マルチボディダイナミクスを援用した省エネルギーマニピュレータの開発」
／岩村誠人(福岡大)
【基調講演】「幾何学モデルをベースとした空間精度測定：工作機械と産業用ロボットへの応用」
／茨木創一(広島大)
- 第73回懇話会(2020年3月30日) 会場 関西大学
講演題目 「モデル化研究の遍歴：流体関連振動から始まりエンジン制御に至るまで」
講演者 東京大学 工学研究科 機械工学専攻 名誉教授 金子成彦先生
講演概要 学生時代を含めるとほぼ40年間の長きにわたり日本機械学会機械力学・計測制御部門の皆様にお世話になりました。研究では、学生時代に始めた流体関連振動の研究を継続し、関連研究者のご協力を得て、この分野に関係する書籍を5冊発行することができました。また、40代から始めた分散エネルギーシステムの研究を出発点として、東日本大震災以降のレジリエンス強化や実走行時の燃費向上に資する自動車用内燃機関のリアルタイム制御アルゴリズム構築に発展させることができました。さらに、自分自身が遭遇した交通事故を契機に始めた運転者の体調モニタリングシステムの研究は、交通事故の未然防止や自動運転に関係するテーマとして注目されてきました。このような研究活動に共通するものは、問題設定とモデル化技術です。この講演では、振動問題のモデル化の研究だった講演者が社会問題に関心を持つようになり、社会実装するための研究を実施するようになるまでの流れについてお話しします。

II その他の活動

騒音に関する講習会の講師派遣、第95期定時総会講演会の企画を支援した。

以上